

# キルギス国地域におけるフードバリューチェーンを活用した実践的な農業教育プロジェクト（2021年～2024年）



## シーベリーを通じて農業教育環境の整備を！

■ **実施団体：**  
株式会社 CheerS  
(提案自治体：北海道士幌町)



チュイ州OVOP商品として認定されたときの集合写真

■ **対象国・地域：**  
キルギス・ビシュケク

■ **現地カウンターパート：**  
キルギス国立農業大学附属農業技術カレッジ

■ **協力内容：**

- ・土幌高校およびカレッジにおいて実践的な農業教育を軸とした授業を行う。
- ・地域資源であるシーベリーを使い、両校の生徒が商品開発を行う。
- ・カレッジにおいて実践的な農業教育が実施できるよう、手順書（指導法）を作成する。

■ **団体のこれまでの取り組み：**

- ・土幌高校と連携し、同校生徒と「シーベリーソーダ」などのシーベリーを使った加工商品を共同開発している。これらの加工製品の販売業務も担っており、まちづくり会社として活動する。
- ・土幌高校と共同開発した商品などをはじめ、GAP認定やHACCP認定取得の支援を行う。
- ・土幌高校とともに一般財団法人自治体国際化協会が実施する自治体国際協力促進事業を活用し、2019年度よりキルギスとの交流を行っている。

■ **事業実施の背景：**

- ・JICA研修員受入事業においてキルギスの営林署関係者にシーベリーの栽培や加工に関する研修を実施したことをきっかけに、双方の取り組みへの関心が高まり、本事業への提案をするに至った。

## キルギスの課題と成果

**課題①**

座学による農業教育が中心となり農業を実践的に学ぶ場がない。

**課題②**

義務教育終了後に農業専攻の道に進むも、8割近い学生が他分野の民間企業等に就職している。

**成果**

カレッジの教員らが実践的な農業教育の方法や意義を理解することにより、フードバリューチェーンを取り入れた農業教育を実践する人材の育成が実現した。活動に協力した学生らにとっても各フードバリューチェーンの現場で働く進路を志す機会となった。

## 事業の波及効果



**共同開発したオートミルククッキーが  
チュイ州OVOP（一村一品）商品に！**

- ・両校の生徒がシーベリーを使ったオートミルククッキーを共同開発し、チュイ州によりOVOP商品として認定された。
- ・事業終了後もキルギス国のOVOP商品認定と両国における販売を目指し、活動を継続している。